

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~2日	1月 ~9日	1月 ~16日	1月 ~23日	1月 ~30日	2月 ~6日	2月 ~13日	2月 ~20日	2月 ~27日	3月 ~6日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	9	33	15	11	8	12	4	10	8	11
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	8	3	2	6	10	14	5	7	13 (15)	11
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	2	1	1	0	0	1	0	1	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	5	15	9	4	2	3	1	4	4	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	7	2	5	1	4	2	6	1	1	3
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第9週(2月28日~3月6日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			1		1	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1							1
五類	10	ジアルジア症	1			1				
		百日咳	1				1			
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	7					4		3
新型インフルエンザ 等感染症	5,016	新型コロナウイルス感染症	5,016	605	313	295	75	2,418	477	833

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第9週に2,284件の報告がありました。新規感染者数は減少傾向でしたが、先週から高止まりとなっています。病床使用率が減少していることから、まん延防止等重点措置は解除されました。一方、先行して重点措置が解除された地域の一部では、新規感染者数の下げ止まりや増加が見られています。外出削減などの要請は解除されましたが、三密回避、マスク着用、換気など基本的な感染防止対策を徹底して再拡大を防ぎましょう。

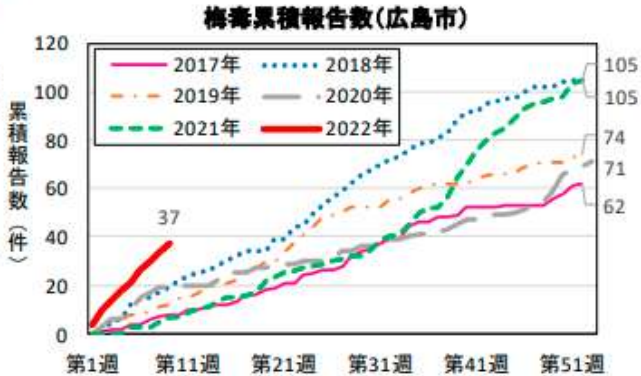
【参考】まん延防止等重点措置期間後の対応について【R4.3.2会見】
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20220302.html>

2 梅毒

4件の報告がありました。昨年(2021年)は2018年と並んで感染症法施行後の最多(105件)を記録するなど多い状況が続いています。今年の累積報告数は第9週で既に37件と、過去5年と比べて非常に速いペースで報告されています。

梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがありますので、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】梅毒に関するQ&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	増減	
												急増減	増減
フィロ	インフルエンザ	-	-	7.21		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.11		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.26		眼科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.45		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.38	2.33			急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	104	4.33	6.40		流行性角結膜炎	1	0.13	0.43		横ばい	ほとんど増減なし	
	水痘	2	0.08	0.29		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	10	0.42	0.12			無菌性髄膜炎	-	-	-			
	伝染性紅斑	-	-	0.24			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14			
	突発性発しん	2	0.08	0.26			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.34			

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	13	70歳代・2人、80歳代・1人
4	レジオネラ症	1	5	90歳代・市外
5	水痘(入院例に限る)	1	2	80歳代
5	梅毒	4	37	20歳代・2人、30歳代・2人

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	丘疹 咽頭炎	1	2021/10/18	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA16型
ヘルパンギーナ	発熱(38.1℃) 口内炎	1	2021/09/29	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA4型
流行性角結膜炎	結膜炎 眼脂 流涙 結膜周擁充血	57	2021/10/04	結膜擦過物	アデノウイルス37型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 流涙 眼瞼浮腫	24	2021/10/10	結膜擦過物	アデノウイルス37型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載